

患者様各位

心臓血管外科術後の手術室抜管成功に関連する因子の検証 に関する研究のお知らせ

研究の背景

当院では心臓血管手術後、患者様の血圧や呼吸が安定している場合、手術室で気管内チューブを抜管するという呼吸管理を行っています。この手法は全国的にみても行っている施設は少なく、最先端の術後呼吸管理といえます。当麻酔科の実績は2012年からこれまで7年間で約500名の患者様に施行しており、殆ど問題はありませんでした。この手術室抜管により術後のコミュニケーションが可能となり、神経学的所見を早期に評価することができました。また術後早期のコミュニケーションが可能になることで、患者様及び御家族様から安堵感及び好評を頂いております。そこで今回の研究では手術室抜管成功に関連する因子を検証するために、心臓血管外科術を施行された患者様の診療記録を分析することにしました。

研究の目的

この研究は心臓血管外科術後の手術室抜管成功に関連する因子を検証するものです。2012年4月1日から2019年10月31日の期間内に、当院で心臓血管外科術を施行された患者様の診療記録を分析することが目的です。

利用する者（被検者）の範囲と研究期間

対象者：2012年4月1日から2019年10月31日の期間内に当院で心臓血管外科術を施行された患者

期 間：2019年10月1日～2021年10月31日（2年間）

研究に際し行うこと

電子カルテに記載のある診療記録、画像データ、検査データを利用します

研究に伴う患者様の負担・不利益

診療記録を分析する研究のため、患者様の金銭的負担は一切ありません。

患者様の人権擁護

患者様およびそのデータは、個人が判別出来ないよう処理します。またこの研究のために収集したデータは、この研究以外の目的には使用されることはありません。

本研究の対象者に該当する方で、カルテ情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。皆様の御協力に感謝致します。

連絡先

社会医療法人友愛会豊見城中央病院

集中治療室 仲間 康敏

電話：(代表)098-850-3811